

セーフティ プロモーション スクール 認証申請書

Safety Promotion School Designation application



大阪教育大学附属池田小学校
Ikeda Elementary School
attached to Osaka Kyoiku University

日本 Safety Promotion School 協議会

令和6年3月6日

目 次

学校概要	1
本校教育の概要	3
セーフティ プロモーション スクールの 7 つの指標	5
指標 1・2	6
指標 3	8
指標 4	9
指標 5	10
指標 6	11
指標 7	12
学年別 1 日平均保健室（怪我による）来室者数	13
大阪教育大学附属学校池田地区 学校安全 Home Page	16
写真資料	
安全教育	21
安全管理	22
安全連携	23

学校概要

1. 学校名：	大阪教育大学附属池田小学校
2. 所在地：	大阪府池田市緑丘 1-5-1
3. 郵便番号：	563-0026
4. 電話番号：	072-761-3591
5. Fax 番号：	072-761-3594
6. E-Mail：	ikedae@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
7. Website：	www.ikedae.oku.ed.jp
8. 通学区域：	池田市，豊中市，箕面市，吹田市，大阪市， 川西市，伊丹市，宝塚市，猪名川町
9. 校長：	真田 巧
10. 副校長：	奈良 真行
11. 主幹教諭：	八尾 哲史
12. 連絡担当者：	三笠 啓司
13. 担当者職名：	学校安全主任

学校統計

1. 児童数：	599 名
2. 在籍児童年齢：	6 歳～12 歳
3. 常勤教員：	26 名
4. 非常勤教員：	4 名
5. 職員：	11 名
6. 校種：	小学校（国立）

航空写真（平成 20 年 5 月撮影）



本校教育の概要

1. 本校の任務

- ① 義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを行う
- ② 大阪教育大学との共同による学校教育と生涯学習の実践的研究
- ③ 大阪教育大学の学部生と大学院生の教育実習と実地研究指導
- ④ 公立学校との実践的研究交流など、地域社会との連携・協力
- ⑤ 学校が安全で安心できる場所とするための安全教育の実践と発信

2. 本校の教育目標

- ① 自ら進んで学び、生活をきりひらく主体的な意欲と能力の育成
- ② 好ましい人間関係を育てることによる集団的資質と社会性の育成
- ③ 自他の生命を尊重し、社会の平和と発展を希求する心情の育成
- ④ 健康の増進と、明るくたくましい心身の育成
- ⑤ 安全な社会づくりに主体的に参画する人間の育成

3. 本校の沿革（学校安全関係）

1909/04/12	創立（池田市建石町）
1919/03/31	大阪府池田師範学校附属池田小学校と改称
1939/08/22	鉄筋新校舎へ移転（池田市城南町 60）
1947/06/16	P T A 発足
1951/04/01	大阪学芸大学附属池田小学校と改称
1953/10/19	現在地に校舎を移転
1967/06/01	大阪教育大学附属池田小学校と改称
1973/04/01	大阪教育大学教育学部附属池田小学校と改称
2001/06/08	侵入者による殺傷事件（児童 8 名が亡くなり、児童 13 名と教員 2 名が負傷する） メンタルサポートチーム設置
2001/08/06	池田キャンパスの小中高合同で第 1 回不審者対応訓練実施
2001/08/27	仮設校舎（池田市城南 3-1-1）で学校再開 登校時の PTA 立ち当番開始 スクールバス運行開始

2002/02/28	子どもたちの祈りと誓いの集い
2002/06/08	祈りと誓いの集い（以後、毎年 6 月 8 日に行う）
2004/02/28	本校舎新改築工事終了
2004/04/01	大阪教育大学附属池田小学校と改称 現校舎（池田市緑丘 1-5-1）で学校再開
2004/06/08	祈りと誓いの塔完成・除幕式
2008/11/01	創立 100 周年記念式典挙行
2009/02/23	文部科学省教育課程特例校
2009/04/01	「安全科」新設
2009/10/01	書籍「いのちの教育」を刊行
2010/03/05	WHO International Safe School に認証 International Safe School 宣言発表
2010/08/21	PTA を対象とした普通救命講習開始
2011/02/10	研究冊子「とごころ」を発刊
2011/02/10	不審者対応訓練を研究発表会で公開
2011/06/08	児童殺傷事件以降の 10 年間の安全の取り組みを保護者・市民に公開
2011/09/07	第 20 回世界セーフコミュニティ会議 スウェーデン で学校安全の取り組みを発表
2013/02/23	不審者対応訓練を研究発表会で公開（これ以降毎年 1 回公開を継続 2019 現在）
2013/03/05	WHO International Safe School に認証
	第 21 回 セーフコミュニティ国際会議 メキシコ・メリダ市 で学校安全の取り組みを発表
2014/05/13	第 7 回アジア地域 SC 会議 韓国・釜山市 で学校安全の取り組みを発表
2015/03/06	Safety Promotion School に認証予定
2016/4/16	小中学校国際教育国際検討会 台湾 で学校安全の取り組みを発表
2016	登校見守りだけでなく下校見守りを開始（PTA）
2016/5	プールの日よけ設置（熱中症と直射日光による肌へのダメージの防止のため）
2017/4	登下校見守り時のベストの着用開始（視認性を向上させ見守りの効果を高めるため）
2017/5	プール外周のシーートの張り替え（危険防止のため滑りにくく視認性が高いものへ）
2017/11	書籍「学校における安全教育・危機管理ガイド」を刊行
2018/3/6	Safety Promotion School に再認証
2020/2	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため研究発表会を中止（後日、授業動画公開）
2020/4	大阪教育大学附属学校池田地区 学校安全 Home Page 開設プロジェクトを開始
2021/3	Safety Promotion School に再認証

セーフティ プロモーション スクールの7つの指標

指標 1 : 学校内に、学校安全に関わる活動の中核を担う「学校安全コーディネーター」等を設置し、その「学校安全コーディネーター」を中心とする学校安全推進のための委員会（以下「学校安全委員会」）が設置されている。

なお学校安全委員会は、「学校安全コーディネーター」のほか、校長・教頭等の学校管理職を含む教職員の代表、児童生徒の代表、PTA 代表、学校を管轄する地域の警察署・消防署の代表、学校のある地域自治会の代表、スクールガードリーダー等の学校ボランティアの代表等から構成されていることが望ましい。

指標 2 : 学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域（「3 領域」と表記）の学校安全推進のための「中期目標・中期計画（3 年間程度）」が立案されている。

指標 3 : 学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が策定されている。

指標 4 : 策定された「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。

指標 5 : 学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ明確な根拠を基に活動に対する分析と評価が行われている。

指標 6 : 学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。

指標 7 : 学校安全推進に関わる活動の成果が、当該学校関係者に共有されるよう広報するとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の公開と新たな情報の収集に努めている。

指標 1：学校安全委員会

		役職
委員長	学校安全コーディネーター	・学校安全主任
委員	教職員代表	・学校長 ・副校長 ・主幹教諭 ・養護教諭
委員	児童代表	・6年生代表 2名 ・5年生代表 2名
委員	PTA 代表	・PTA 会長 ・PTA 安全部会長
委員	警察関係者	・池田警察署 生活安全課長
委員	消防関係者	・池田消防署 署長
委員	市町村危機管理部局関係者	・池田市役所危機管理課 安全管理担当監
委員	地域自治会代表	・鉢塚町内会 副会長
委員	大阪教育大学	・学校危機メンタルサポートセンター長

指標 2：セーフティプロモーションスクール活動の中期目標・中期計画

（令和 3 年 3 月の目標・計画および達成状況）

分野	中期目標・中期計画	達成状況
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	・危険個所の発見及び遊具等の施設及び設備の改善に努める。 →低学年の頭部打撲事故を令和 2 年度の 70% 以下にする。 ・休憩時間の怪我を減少させる。 →20 分休憩と昼休憩のけがの発生を令和 2 年度の 70%以下におさえる。 ・保護者と連携しての防犯及び地震の避難訓練を行う。 ・救命・外傷予防や不審者対応に関わる施設及び設備を一層充実させる。	・月に 1 度の安全点検を継続的に実施することで、危険個所を早期に発見し改善した。 →数値目標を達成することはできなかった。 ・昼休憩の怪我の発生件数は減少した。 →数値目標を達成することはできなかった。 ・授業参観時に地震の避難訓練を行い、児童が避難する様子を保護者に見学してもらった。 ・AED の更新や WBGT 測定器を 4 か所に設置し、常時確認することで、熱中症予防に役立てた。

分野	中期目標・中期計画	達成状況
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	・防災倉庫の備品の充実を進める。 ・災害発生後の保護者との連絡方法や引き渡し方法等を保護者と共有する。 ・登下校時に発生した自然災害に適切に対応できるよう安全教育を行う。 ・保護者と連携しての防犯及び地震の避難訓練を行う。	・備品の更新を行った。 ・ミマモルメによる一斉メール配信も導入し、迅速な連絡体制を構築した。 ・地区別活動時に、登下校時に地震が発生した場合の対応について指導した。 ・授業参観時に地震による引き渡し訓練を行い、児童と共に訓練を行った。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	・学校行事等に地域住民を積極的に招待し、地域との交流を継続的に実施する。 ・道徳教育の充実を図り、社会の一員としての自覚を促すとともに、安全教育の一環として児童が中心となってマナー向上を目指した取り組みを行う。 ・PTAによる下校見守りを継続して行う。	・運動会や餅つき大会などに招待するとともに、地域の清掃に参加し交流を深めた。 ・道徳教育推進者を配置し、道徳教育の充実を図った。 ・PTAによる下校見守り当番を継続して実施するとともに、父親見守り活動も実施した。

（令和6年度からの中期目標・計画）

分野	中期目標・中期計画
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	・危険箇所の早期発見及び遊具等の施設及び設備の改善に努める。 ・休憩時間の怪我を減少させる。 →20分休憩と昼休憩の1日あたりのけがの発生件数を令和5年度の90%以下におさえる。 ・警察や消防と連携を深め、防犯の避難訓練を行う。 →年に1回は警察や消防と連携した訓練を行う。 ・救命・外傷予防や不審者対応に関わる施設及び設備を一層充実させる。
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	・防災倉庫の備品の充実を進める。 ・災害発生後の保護者との連絡方法や引き渡し方法等を保護者と共有する。 ・登下校時に発生した自然災害に適切に対応できるよう、安全教育の充実を図る。 ・消防署と連携して、地震及び火災の避難訓練を行う。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	・学校行事等に地域住民を積極的に招待し、地域との交流を継続的に実施する。 ・道徳教育の充実を図り、社会の一員としての自覚を促すとともに、安全教育の一環として児童が中心となってマナー向上を目指した取り組みを行う。 ・教職員による登下校指導やPTAによる下校見守り活動を継続して行う。

指標３：セーフティ プロモーション スクール活動の年間計画（令和５年度）

分 野	領 域	年間計画
生活安全 ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防	安全教育	○児童自身が外傷予防に取り組もうとする態度を育成する。 ○安全科の授業を通して、児童の危険予知・回避能力を高める。 ○児童と教職員が不審者対応訓練を実施し、非常事態に備える意識を高める。
	安全管理	○警備計画や校内安全規則に基づき、校内の危険箇所を減少させる。 ○日直が校内を巡回し、危険な行動を防ぐ。 ○ミマモルメ（メールサービス）を活用し、学校と保護者の連絡が迅速に行えるようにする。 ○消防署や病院との連携を深め、救急搬送が迅速に行えるようにする。
	安全連携	○不審者対応訓練や普通救命講習を通して教職員・保護者の救命救急スキルを高める。 ○学校安全委員会の場で学校の取り組みに対する外部からの評価を受ける。 ○不審者対応訓練の内容を HP にアップし、学校安全の取り組みを発信する。
災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害対策 ・ 火災予防	安全教育	○地震・火災・水難の避難訓練を定期的実施し、児童の防災スキルを高める。 ○自然災害時の対応について、安全科の授業で系統的に取り組む。 ○地区別下校を行い、災害時に高学年中心に安全に下校できるようにする。
	安全管理	○消防計画や防災組織編成に基づき、教員がそれぞれの役割を果たす。 ○災害で下校できない状況を想定し、食料を備蓄する。 ○災害時における保護者への連絡方法の周知・徹底を図る。
	安全連携	○普通救命講習を実施し、教職員や保護者の救命救急スキルを高める。 ○学校安全委員会の場で学校の取り組みに対する外部からの評価を受ける。 ○消防署と連携を図り、安全教育の充実を図る。
交通安全 ・ 被害予防 ・ 加害予防	安全教育	○登下校の様子を振り返り、安全に登下校しようとする態度を育成する。 ○社会の一員としての自覚を育むことで、登下校のマナーを向上させる。
	安全管理	○駅から学校まで安全な経路を通学路として定める。 ○日直が登下校時に通学路を巡回し、安全を確保する。 ○学校に入った連絡を通学路にいる日直に速やかに伝わるようにする。
	安全連携	○保護者や地域の協力を得て登下校の安全を確保するように努める。 ○池田市役所や池田警察署と連携した安全教育を実施する。

指標 4 : セーフティ プロモーション スクール活動の実践（令和 5 年度）

分野	領域	活動・実践の内容
生活安全 ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防	安全教育	・ 高学年児童（約 15 名）が中心となり、廊下や階段の右側通行を促す案内図を校舎内に掲示した。（10 月 10 日） ・ 1 年生歓迎会を活用し、6 年生が 1 年生を中心に、全校児童へ向けて学校での安全な過ごし方について呼びかけを行った。（4 月 26 日） ・ 安全科のカリキュラムを見直し、教科を横断することで学年に応じた資質・能力を育んだ。（1 年生、2 年生、5 年生… 2 月 2 4 日研修会） ・ 栄養教諭・養護教諭と担任が連携し、食育指導や保健指導の充実を図った。（12 月、1 月… 4 年生保健指導、3 月 18 日… 1 年生食育指導） ・ シチュエーション訓練を行い、食物アレルギー発症時における対応方法を共有した。（4 月 1 8 日、参加教職員数 35 名） ・ 不審者が侵入したという想定で、児童・教職員が避難訓練を実施した。（10 月 27 日、10 時 35 分～11 時、参加児童 599 名、参加教職員数 29 名） ・ 不審者対応訓練を外部へ公開し、学校安全の推進を図った。（9 月 4 日、10 月 30 日、2 月 24 日、参加教職員数延べ約 400 人）
	安全管理	・ 児童が安全に学校生活を送ることができるように各種規則を見直し、運用した。（安全に過ごすためのきまり、制服規定などの見直し） ・ エピペン所持児童が一目で分かるように、エピペン所持マークをロッカーに貼り、教職員で情報を共有した。 ・ 食物アレルギー対応表を各教室に備え付け、担任と栄養教諭が連携し、誤食・誤食を防いだ。 ・ 校内における危険箇所を再点検し、安全点検の項目を見直した。また、安全点検の場所を再編成し、担当場所の施設設備及び遊具の安全点検を行った。（令和 5 年度安全点検重点箇所：運動場） ・ 高学年（4・5・6 年）では、子どもの実態に応じて、子どもと一緒に安全点検を行う。 ・ 休み時間や放課後に、日直が校内を巡回し、安全指導を行った。 ・ 緊急時及び下校時刻の変更時などには、速やかに全保護者に一斉にメールを送信した。 ・ 登下校時には、日直および保護者が巡回指導を行った。 ・ 短縮時や全学年一斉下校の際は、教職員による下校指導を行った。（通学路に 6 名の教員を配置）
	安全連携	・ 月 1 回児童実態交流会を開き、各学年の生活指導上の問題点等を教員全体で共有する場を設定した。 ・ 不審者対応訓練を年間 5 回、普通救命講習を 1 学期に実施した。（不審者対応訓練を年 3 回外部へ公開した。） ・ 池田警察署との連携を図り、不審者対応訓練の充実を図った。

		(5月29日、池田警察署員による訓練講評、さすまた講習の実施) ・教職員に応急手当普及員の資格取得の推奨。(普及員：12名) ・救命救急講習を開き、応急手当普及員が中心となり、全教職員の救命スキルの向上に努めた。(4月18日、参加教職員数35名) ・保護者や児童に学校の学校安全活動に対するアンケート調査を行った。 ・不審者対応訓練をHPにアップし、学校安全の取り組みを発信した。
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	安全教育	・年5回、火災、地震、防犯の避難訓練を実施した。 (4月10日：避難経路確認、6月19日：避難訓練(火災)、9月1日、2月8日：避難訓練(地震)、10月27日：避難訓練(防犯)) ・避難訓練を休み時間などにも行い、児童が自分で考えて避難行動をとれる機会を設けた。(2月8日、参加児童数約600名) ・安全科のカリキュラムを再編し、安全科の授業だけではなく、他教科との関連を図り、防災や火災、水難等に関わる教育を学年に応じて取り組んだ。(着衣泳の実施、実施月：8月、実施学年：2・4・6年) ・通学許可範囲を21の地区に分け、地区ごとに下校する体制を整えた。(地区別活動の実施、4月20日、5月10日、9月5日、2月27日) ・地区別活動では、6年生が安全推進委員となり、リーダーシップを発揮しながら学校安全推進の役割を担った。 ・災害時を想定した全校引き渡し訓練を行い、保護者との連携を図った。(10月28日土曜日に実施)
	安全管理	・学校安全マニュアルを定期的に見直し、全教職員で共有した。 ・警備、防災組織を年2回再編し、万が一に備えて役割を細分化した。 ・不審者、地震、火災、風水害に対応するための役割を共有した。 ・火災の予防や児童の安全確保のため、安全点検の際に防災消火設備等の点検を月1回行った。(防災の視点から) ・災害により下校困難となった場合に備えて、2日分の食料を備蓄管理した。(備蓄倉庫の整理) ・スーパードラゴンを訓練時から積極的に活用した。また、地震発生を感知し、地震波が到達するまでの時間を全校放送で知らせた。
	安全連携	・水泳が始まる前に応急手当普及員(本校教員)の指導の下、普通救命講習を実施した。(4月18日、参加教職員数35名) ・プール水泳指導のあり方についての意見交換及びプールの安全点検を行った。(6月6日、水泳管理委員会、参加教員7名) ・泊を伴う学校行事の際には、事前に避難行動について、各学年、各学級で事前、事後指導を行った。 ・海水浴中の事故防止対策や津波が到来した場合の避難経路を確認した。(7月11日～13日、臨海学舎にて避難訓練の実施)
交通安全	安全教育	・保護者同意のもと、登下校の様子を撮影し、安全な登下校の仕方を指

・被害予防 ・加害予防		導した。(実施月：2月、対象学年：1年) ・登下校時の安全確保のため、毎日教員や保護者が通学路（複数箇所）に立って登下校指導にあたった。 ・池田警察署の協力により、警察官による交通安全指導の実施。 (4月27日、実施学年：1年生) ・池田少年サポートセンターの協力により、5年生へ非行防止教室を行った。(2月14日)
	安全管理	・1年生に限り、登校時に池田駅から学校まで阪急バスを利用した。
	安全連携	・登校時、6名の保護者が決められた場所で児童の安全確保を行った。 ・下校時、教職員が通学路を巡回指導した。 ・年間10日程度、児童の父親が登校時の安全確保のため、立ち当番を行った。 ・学校周辺の安全確保が必要と判断した時、池田警察署に依頼し、警察官が周辺の巡回を行う体制づくりに努めた。 ・池田市職員が、青色灯をつけた車で登下校時にパトロールを行った。

指標 5 : セーフティ プロモーション スクール活動の評価 (令和 5 年度)

分野	領域	評価方法
生活安全 ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防	安全教育	・朝会時に安全科での学びを全校児童に発信するなど、高学年がリーダーシップを発揮し、校内における学校安全の推進に取り組んだ。 ・児童対象の不審者対応訓練に取り組み、適切な避難行動について考えた。 ・安全科のカリキュラムを見直し、教科を横断させることで、安全教育に必要な資質・能力を育んだ。
	安全管理	・安全点検の場所や項目を見直し、危険箇所の早期発見、修繕に取り組んだ。 ・休み時間や放課後などには、日直による校内の巡視と施錠確認を行った。また、けがや危険な行動が発生しやすい休み時間には、全教職員で見回りをを行い、適切な安全指導に努めた。 ・保護者へのメールを必要に応じて配信した。 ・日直・保護者による登下校時の見回りを強化した。(見回り強化週間)
	安全連携	・児童に生活指導上の問題があった際には、迅速に全教職員での情報共有を図った。 ・不審者対応訓練を 5 回実施した。そのうち 3 回を外部へ公開し、広く学校安全の取り組みを発信した。 ・シチュエーション訓練を行い、事故発生時の対応を含めた普通救命講習を実施した。 ・通学路近くでの不審者情報や児童への加害が想起される事案に対して、関係機関と連絡を取りながら児童の安全確保に努めた。 ・児童・保護者を対象に学校教育診断を行った。
災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害対策 ・ 火災予防	安全教育	・地震・火災の避難訓練を 4 回実施し、避難経路の見直しを行った。 ・安全科のカリキュラムを再編し、他教科と関連させることで、防災や火災、水難等に関わる安全教育を学年に応じて指導した。 ・地区別下校を 3 回実施し、安全・安心な登下校の仕方を確認した。 ・災害時を想定した引き渡し訓練を行い、保護者との連携との連携構築に努めた。
	安全管理	・消防点検を定期的実施した。 ・学校安全の手引きを定期的に見直し、訓練や点検を計画的に行った。

		・スーパードラゴン（緊急地震速報装置）を活用し、避難訓練を行った。
	安全連携	・安全管理委員会の実施や設備点検を行った。 ・安全に関わる訓練や打ち合わせの実施。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	・登下校マナー週間を設け、教員が通学路上での安全指導を行った。 ・保護者と連携し、登下校時の指導を行った。 ・安全科の授業を充実させるほか、池田警察署員による交通安全指導を行った。 ・池田少年サポートセンターによる非行防止教室を行った。
	安全管理	・スクールバスを運行し、1年生の登校時の安全を図った。 ・日直による登下校時の見守りを行った。 ・短縮時、一斉下校時には、教職員による下校指導を強化した。
	安全連携	・保護者（当番制）による登下校時の見守りを行った。 ・池田市危機管理課による登下校時の安全パトロールを実施した。

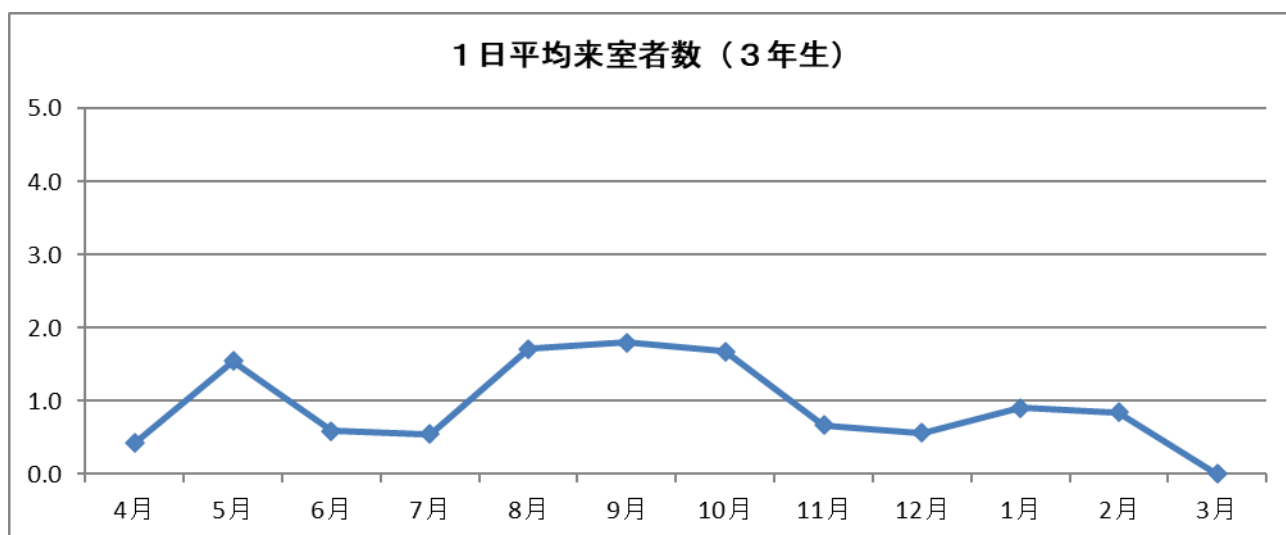
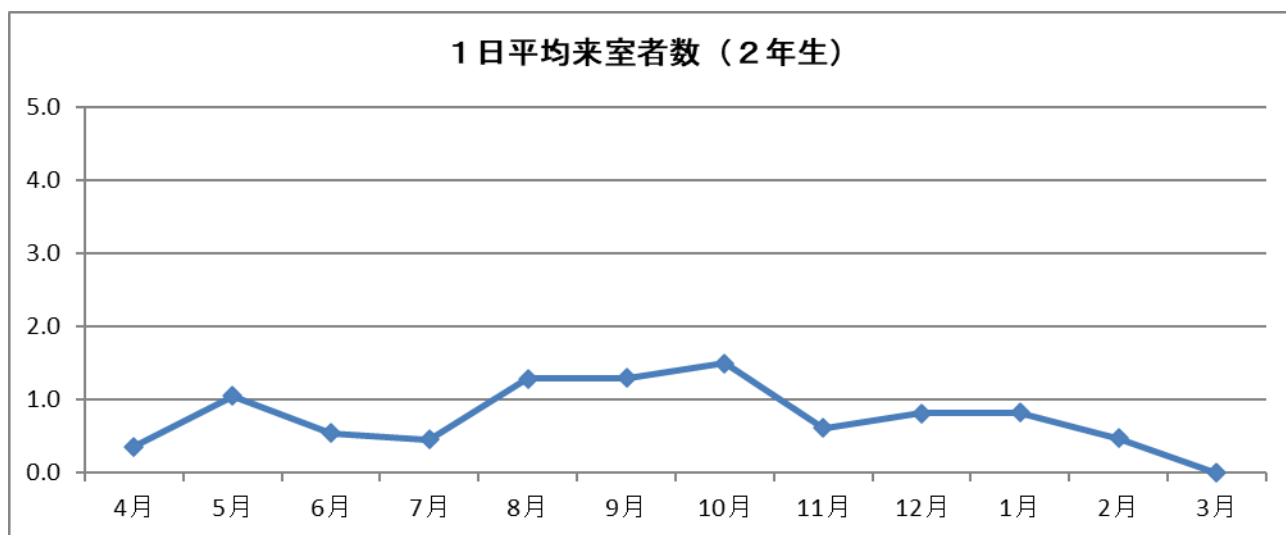
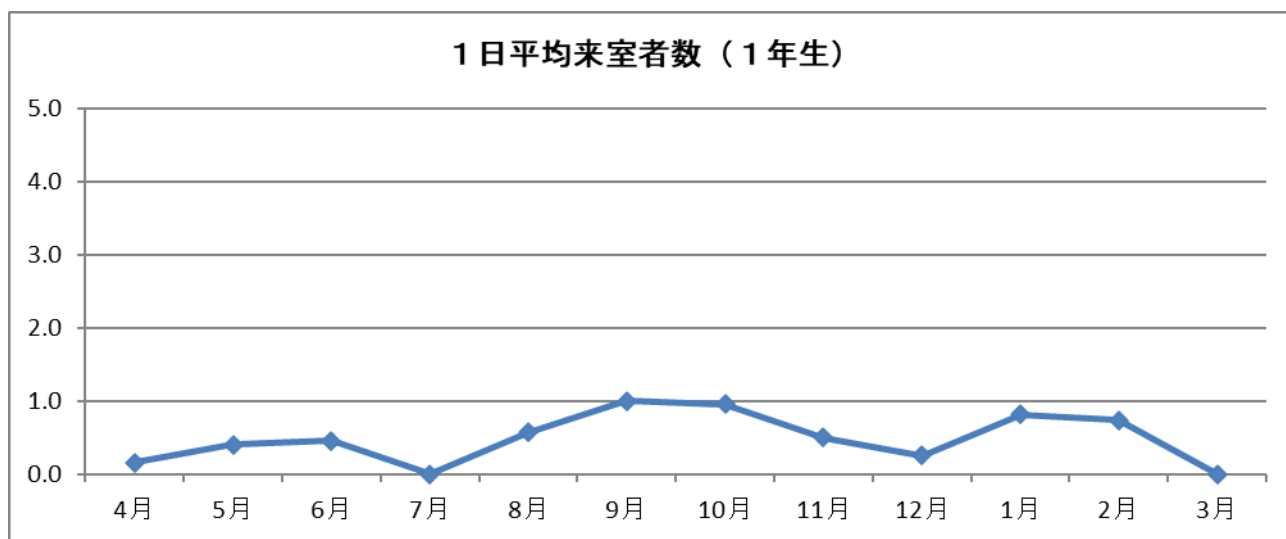
指標 6 : セーフティ プロモーション スクール活動の改善 (令和 5 年度)

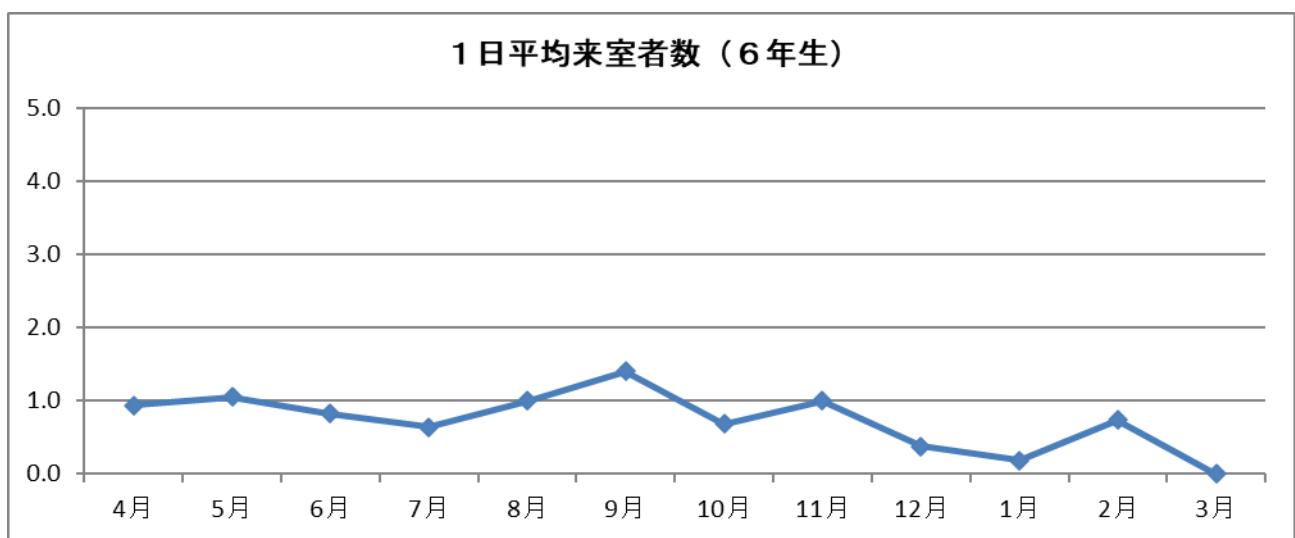
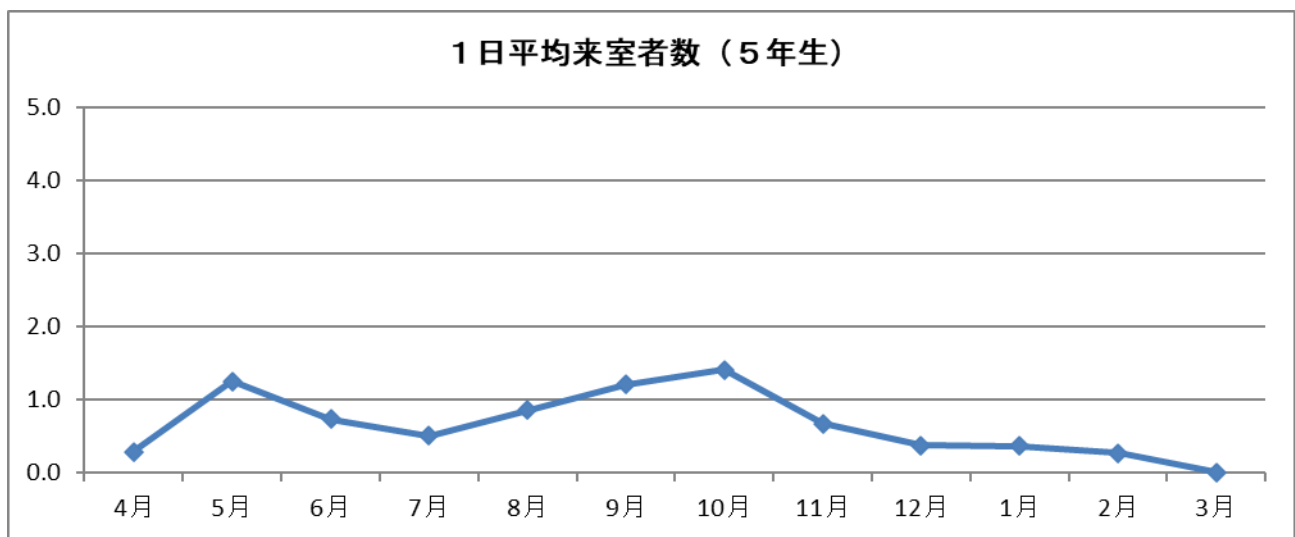
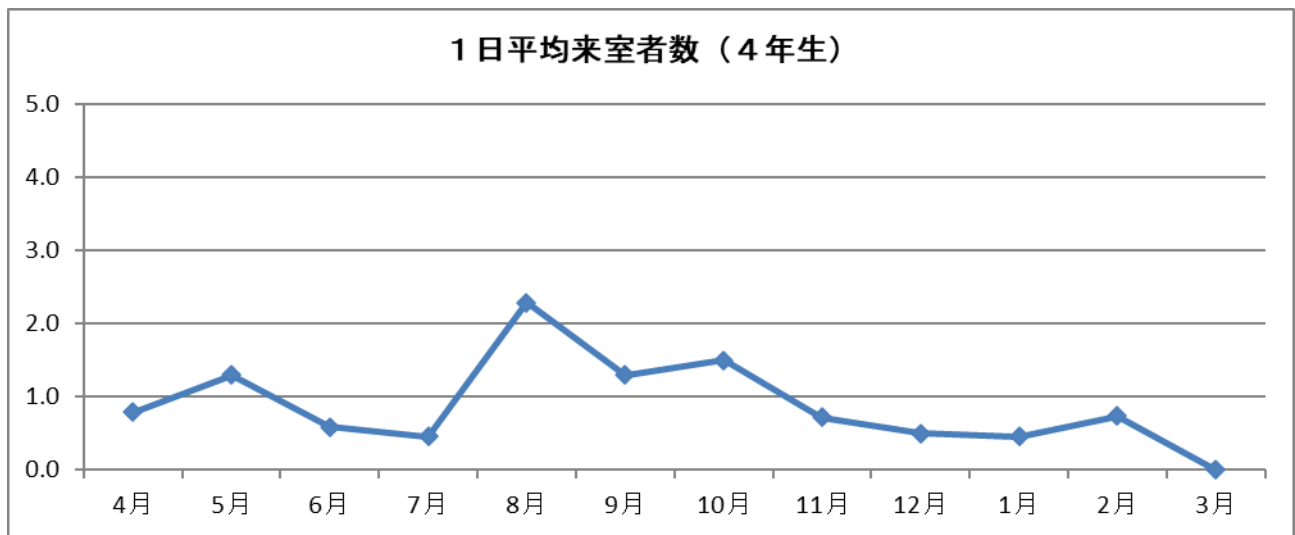
分野	領域	課題への対応と改善
生活安全 ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防	安全教育	・ 安全科のカリキュラムの定期的に見直し、生活安全や防犯に関わる更なるコンテンツの充実を図る。
	安全管理	・ 校内でのけが発生状況を分析し、施設・設備の改善を図る。 ・ 安全科の授業の一環として、児童が中心となり校内の安全について啓発できる活動を充実させる。 ・ 池田地区の学校園と連携し、緊急時の対応体制の構築を図る。
	安全連携	・ 不審者対応訓練における振り返りを特に重視する。出てきた反省を活かし、より実践に即した訓練のあり方を模索する。また、外部へ積極的に公開し、安全教育を推進していく。
災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害対策 ・ 火災予防	安全教育	・ 防災等に関わる教材開発を行い、コンテンツの充実を図る。
	安全管理	・ 防災倉庫内の備品管理を徹底し、備蓄備品の更新を続ける。 ・ 安全点検項目を随時更新し、災害時に危険な箇所の改善を図る。また、複数人で点検を行い、危険箇所を早期発見できるようにする。
	安全連携	・ 池田市や地域自治会など、地域との交流を深め、緊急時にスムーズに連携・対応できる体制のあり方を検討する。
交通安全 ・ 被害予防 ・ 加害予防	安全教育	・ 学年の実態を踏まえ、交通安全に関わる授業改善に取り組む。 ・ 児童が学びの成果を発信できるような機会を設定し、児童の主体性を育む。 ・ 道徳教育と各教科とを関連付け、社会の一員としての自覚を児童が高めることで、社会規範順守の意識の向上に努める。
	安全管理	・ 中学、高校や P T A と連携し、通学路の安全点検を行い、立ち当番の配置人数や場所などについて再検討を行う。
	安全連携	・ 池田警察との連携を活かした交通安全指導の充実を図る。 ・ P T A の登下校見守りの継続的な実施を行う。

指標 7 : セーフティ プロモーション スクール活動の共有（令和 5 年度）

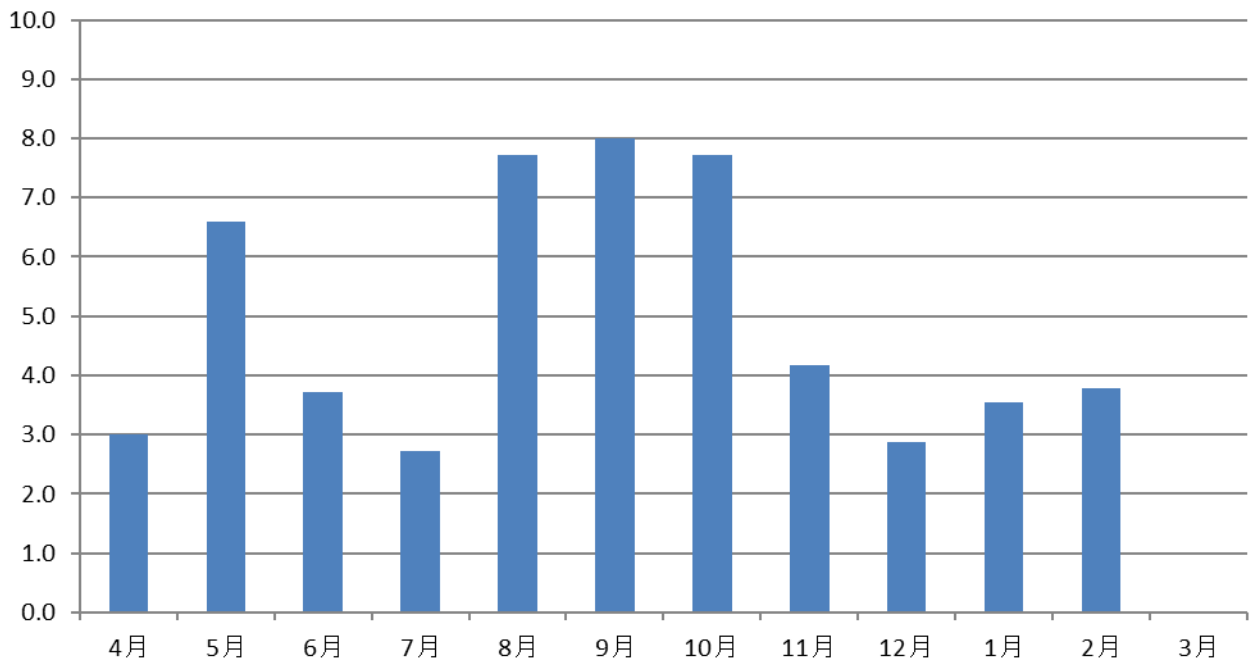
分野	領域	成果の共有と協働
生活安全 ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防	安全教育	・ 8 月に開催された学校安全指導者養成研修において、本校での安全教育について研修会参加者と交流を行った。 ・ 研究の取り組みを整理し、授業実践を実践記録としてまとめた。 ・ 文化発表会において、児童が学習の成果を保護者等に発表した。
	安全管理	・ 不審者対応訓練を外部へ公開し、学校安全の重要性を広く発信した。 ・ 8 月に開催された学校安全指導者養成研修において、本校での安全管理について研修会参加者と交流を行った。 ・ 学校安全の手引きを定期的に見直し、全教職員で共有する場を設けた。
	安全連携	・ 学校視察の受け入れを行い、学校安全の取り組みを交流した。 ・ 他の自治体の学校園で、学校安全や安全教育についての研修会を実施した。 ・ 大学と連携し、学生に安全管理・安全教育の講話を行った。
災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害対策 ・ 火災予防	安全教育	・ 8 月に開催された学校安全指導者養成研修において、本校での安全教育について研修会参加者と交流を行った。 ・ 今年度の授業実践を整理し、2 月研修会で実践記録として報告し、交流を図った。
	安全管理	・ 今年度の取り組みについて職員会議等で報告・交流し、次年度への課題を共有した。
	安全連携	・ 学校安全管理委員会において学校安全の取り組みを交流した。
交通安全 ・ 被害予防 ・ 加害予防	安全教育	・ 8 月に開催された学校安全指導者養成研修において、本校での安全教育について研修会参加者と交流を行った。 ・ 安全科のカリキュラムを再編し、安全教育の充実に取り組んだ。また、教科を横断させることで安全教育に必要な資質・能力を育んだ。

	安全管理	・ 中学校、高校、P T A と連携し、通学路における安全点検を行った。立ち当番の配置人数や場所などを見直し、児童の安全確保に努めた。
	安全連携	・ 池田警察署と連携を図り、交通安全指導の充実に取り組んだ。また、児童への加害情報事案があった場合は、池田警察署と迅速に連携し、通学路の巡回を依頼し、児童の安全確保に努めた。 ・ 学校安全管理委員会において、学校安全の取り組みを交流した。

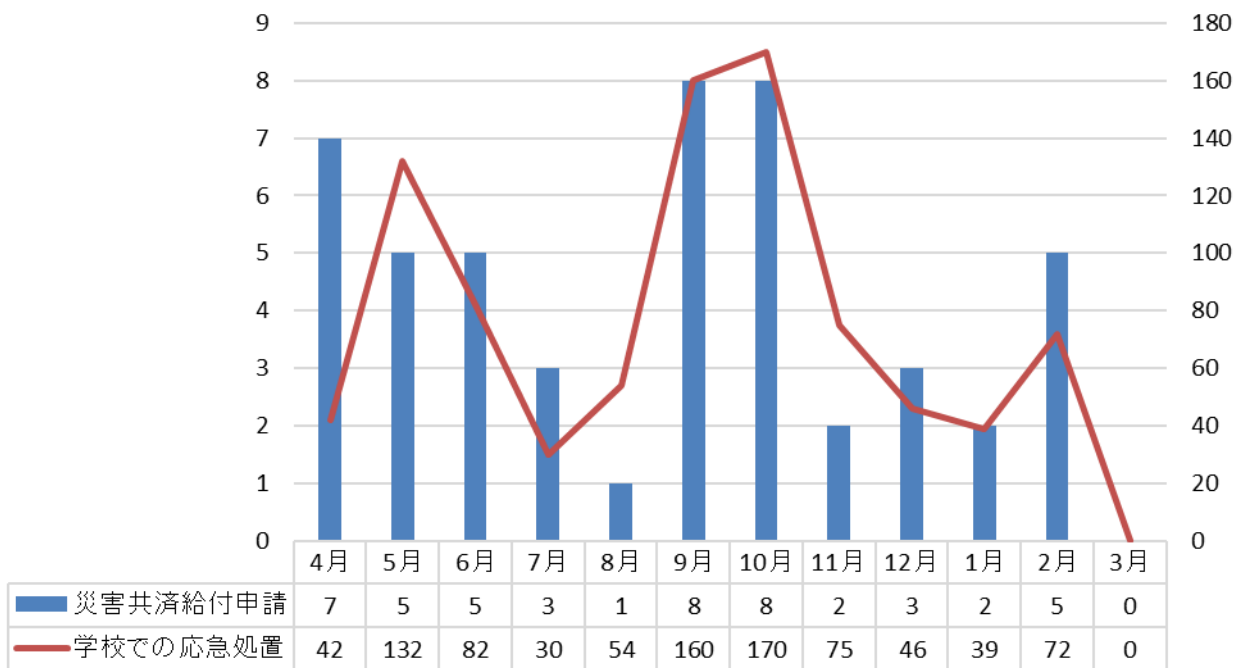




R05 1日平均来室者数（全学年）



R05 災害共済給付申請件数



大阪教育大学附属学校池田地区 学校安全 Home Page

○「学校安全 Home Page」より

HOME

安全教育

安全管理

ホームページの開設にあたって

附属学校池田地区では学校安全に真摯に取り組んでいます。(学校安全の手引きから)平成13年(2001年)6月8日、あってはならない事件が本校で起こった。8名もの尊い命を失い、多くの児童が心身に大きな傷を負った... [続きを読む»](#)

カテゴリー: 未分類

安全教育

附属学校池田地区がこれまでに取り組んできた安全教育のカリキュラムと授業を紹介します。授業は学年や領域で分類されています。授業動画への(外部)リンクもあります。

カテゴリー: 未分類

安全管理

附属学校池田地区の安全管理の方針や実際の様子を紹介します。不審者対応訓練の動画への(外部)リンクもあります。

SPS (Safety Promotion School)

附属池田小学校 SPS申請書 2015

附属池田小学校 SPS申請書 2018

Link

大阪教育大学

附属池田小学校

附属池田中学校

附属高等学校池田校舎

学校安全推進センター

○ 安全教育（安全科カリキュラム）

■安全科カリキュラム 年間計画表		★は他教科と連携しながら取り扱うもの				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	交通安全教室 ★校舎内の歩き方【5】	校内での安全について	通学路の安全チェック ネットリテラシーを身に付ける	自転車の運転 交通事故の防止	授業とけが①(理科・図工・家庭) ★授業とけが②(調理実習)【6】	身近な人の命を救う(救命措置) ★可燃物を知る【6】
5月	★2年生と一緒に学校探検【5】	★1年生と一緒に学校探検【5】 校内の安全設備を知ろう	自転車の運転(交通ルール)	けがの程度と119番通報 インターネットとさまざまな被害	自転車の運転(加害者にならないために)	感電 安全対策と対処法 ネットと社会①(ネット被害)
6月	★安全な学校生活(施設・設備)【5】 ★安全な学校生活(人)【5】 ★水と仲良く(プール水泳)【5】	校内の安全設備を調べよう 校内の安全マップをつくろう	6月8日 前日と誓いのついでい 安全授業(新用政策の授業 もしくは 当該学年の内容から選択) シートベルトとチャイルドシート 水と仲良く(野外での水遊び)	乗用と避難 水難事故を減らそう(ゲータから考える)	ギリラ暴用への対応 ★大雨からまともを守る人々と技術【5・6】 水難事故について考える	ネットと社会②(ネットと犯罪) ネットと社会③(キャッシュレス社会) 性被害への対応
7月	★安全な学校生活(インタビュー)【5】 ★学校安全クイズをつくろう【5】	★水泳(水の怖さを知る)【5】 水と仲良く(家庭内での水の事故) 命を守る行動	命を守る①(犯罪機会論の観点) 命を守る②(危険場所を考える)	★水泳(泳ぐ技術をも身に付ける)【5】 熱中症を防ぐ	台風への対応(野外活動中の対応) 落雷の発生と被害 ★熱中症の手当て【5】	過去の台風で学ぶ ★身近な人の命を救う【5】 (溺れた人の助け方・水泳泳)
9月	交通安全の現状 交通事故が起きやすい場所	交通ルール①(実体験から考える) 交通ルール②(交通事故事例から考える)	命を守る③(危険場所を考える)	台風と避難(接近・上陸) 竜巻の発生と被害	★台風と被害【5】 ★食の安全を考える【5】 危険生物 安全対策と対処法	★阪とアルカリ【5】 快速で安全なサイクリング 交通事故が起こればにどうするか
10月	安全な歩き方①(道路) 安全な歩き方②(横断歩道)	安全な歩き方③(すれ違い) 安全な歩き方④(危険予測)	安全マップ③(安全・危険の観点) 安全マップ④(4視点で危険予測)	命を守るしくみ①(防犯ブザー) 命を守るしくみ②(まちの防犯設備)	情報発信のマナー	★地震の発生メカニズムと被害【5】 ★津波の発生メカニズムと被害【5】 ★噴火の発生メカニズムと被害【5】
11月	感染症①(手の洗い方) 保健室の利用 公共交通安全のルール・マナー	感染症②(手の洗い方 ふたたび) 個人情報を守るために	感染症③(マスクの着用) 安全マップ⑤(フィールドワーク) 安全マップ⑥(マップをつくろう) ★消防のしくみ①(消防施設や設備)【5】	感染症④(さまざまな感染症と予防法)	感染症⑤(感染症と病原体) 性被害と性加害	火山現象と噴火警戒レベル
12月	安全を守ってくれる人・もの(通学路) 火災を知る	火災から身を守る(避難の方法) 校舎内での大きなけが	★消防のしくみ②(消防署の見学)【5】 安全マップ⑥(情報発信) 私たちの学校のけが	校内の防火・消火設備	転落事故の防止	★建物・漏・たばこ②(火への事前準備)【5】 建物・漏・たばこ③(風用を防ぐには)
1月	地震と避難(発生時の安全確保) IDとパスワード管理	地震と避難(緊急地震速報)	地震への備え	地震への対応(外出先での対応)	地震への対応(山・海での対応)	避難場所での生活と復興
2月	自分の身を守る行動 公園や建物の中での行動	ルール・マナー 守る方法を考える ルール・マナー 考えたことを発信する	火災を防ぐ	性被害の防止と対応	★スポーツとけが【5・6】 ★手当ての方法の理解と実習【5】 喫火と避難	安全な校内づくりの提案をしよう ★SDGsを達成するために【5・6】
3月				津波と避難	津波 予報・警報の理解	
					★自然災害とわたしたちの社会【5】	
安全科時間数	14	17	16	16	14	14
他教科連動時間数	7	2	2	2	8	8
合計	21	19	18	17	22	22

○ 安全教育 授業（学年別）「6年」

小6 災害安全 過去の台風学ぶ 災害安全 自衛組織への参加 災害安全 避難所での生活 生活安全 薬物・酒・たばこ 生活安全 AEDを使った応急手当 生活安全 校内安全への提案 生活安全 119番通報 情報モラル キャッシュレス社会 情報モラル ネット依存を防ぐ 情報モラル ネット犯罪から自分を守る	安全科カリキュラム
	小学校カリキュラム
	授業（学年別）
	小1
	小2
	小3
	小4
	小5
	小6

○ 安全教育 授業（領域別）「災害安全」

災害安全 小1 地震発生時の安全確保 小2 外出時における地震への対応 小2 ゲリラ豪雨への対応 小3 緊急地震速報 小3 気象警報が出たときの行動 小4 台風情報を読み取る 小4 竜巻の発生と被害 小4 大雨から町を守る 小5 噴火警戒レベル 小5 落雷の発生と被害 小5 津波から命を守る 小6 過去の台風学ぶ 小6 自衛組織への参加 小6 避難所での生活	安全科カリキュラム
	小学校カリキュラム
	授業（学年別）
	小1
	小2
	小3
	小4
	小5
	小6
	授業（領域別）

○ 安全教育 授業（領域別）「交通安全」

交通安全 小1 公共交通機関のルールとマナー 小1 シートベルト・チャイルドシート 小1 安全な登下校 小2 道路上での危険予知 小2 安全な歩行 小3 交通事故の事例に学ぶ 小5 交通事故を防ぐ町づくり	安全科カリキュラム
	小学校カリキュラム
	授業（学年別）
	小1
	小2
	小3
	小4

○ 安全教育 授業（領域別）「生活安全」

安全科カリキュラム	
小学校 カリキュラム	
授業（学年別）	
小 1	
小 2	
小 3	
小 4	
小 5	
小 6	
授業（領域別）	
災害安全	
生活安全	
交通安全	
情報モラル	
Recent Uploads	
小4 生活安全 熱中症を防ぐ	
小5 情報モラル ネット上のトラブル	
小3 生活安全 安全な水遊び	
小3 生活安全 校内における事故・外傷	
小4 生活安全 地震発生時の安全確保	

安全科カリキュラム	
小学校 カリキュラム	
授業（学年別）	
小1 避難経路を考える	
小1 保健室の利用	
小1 正しい手洗い	
小1 不審者から身を守る	
小1 校内の防犯設備	
小2 校舎内でのけがを防ぐ	
小2 安全な留守番	
小2 家庭での水の事故	
小2 火災から命を守る	
小2 校内の防火設備	
小3 火災を起こさないために	
小3 マスクの着用とその効果	
小3 校内における事故・外傷	
小3 犯罪が起こりやすい場所	
小3 学校周辺安全マップ	
小3 安全な水遊び	
小4 防犯ブザー	
小4 転落事故を防ぐ	
小4 熱中症を防ぐ	
小4 町の防犯設備	
小4 町の防火設備	
小5 危険生物への対処	
小5 性被害・性加害	
小5 感電事故を防ぐ	
小5 感染症と病原体	
小5 食の安全を考える	
小6 薬物・酒・たばこ	
小6 AEDを使った応急手当	
小6 校内安全への提案	
小6 119番通報	

○ 安全教育 授業（領域別）「情報モラル」

安全科カリキュラム	
小学校 カリキュラム	
授業（学年別）	
小 1	
小 2	
小 3	
小 4	
小 5	

安全科カリキュラム	
小学校 カリキュラム	
授業（学年別）	
小1 IDとパスワード	
小2 個人情報を守る	
小3 ネットリテラシー	
小4 情報発信のマナー	
小5 ネット上のトラブル	
小6 キャッシュレス社会	
小6 ネット依存を防ぐ	
小6 ネット犯罪から自分を守る	

小4 生活安全 防犯ブザー

投稿者: kyoiku | 2021-04-10

0件のコメント

防犯ブザーは、子供たちの安全を守るアイテムの一つです。しかし、今までに正しい使い方で、防犯ブザーを使ったことがある人はどれくらいいるのでしょうか。いざというときに備え、どのタイミングで使うのがいいのか、どのように使うことが効果的なのかを再確認するとともに、自分ならどのように対応するかを予め考える良い機会になると考えます。

池田市 子ども被害情報 (002 12/14時点)

多い? 14件 少ない?

子供を狙った事件は年々減少している

増加	減少
SNSの事件が多くなってそう	警察が何か対策をしていそう
ニュースでよく報道されている	立ち当番や地域の人が見てくれている

減少しても怖い思いをしている子どもがいる!

◎子供を狙った不害者が嫌がることは?

- ・大きな声を出す
- ・大人や警察、子供110の家に行く
- ・狭い道に逃げ込む
- ・防犯ブザーを鳴らす

みんなも持っているアイテム

防犯ブザーのよさ

- ・大きな音が出る
- ・すぐに使える
- ・投げても使える
- ・周囲に危険を知らせることができる

防犯ブザーを鳴らすのはいつ?

- ・危険を感じたらすぐに鳴らす
- ・何かされたりしたら鳴らす
- ・少し様子を見てから鳴らす
- ・基本的には鳴らさない

もし、間違えただったら...

- ・恥ずかしい
- ・鳴らしたことを後悔する
- ・すぐに謝る
- ・鳴らした理由を説明する

小5 生活安全 感染症と病原体

投稿者: kyoiku | 2020-11-12

0件のコメント

新型コロナウイルスに関する情報のなかには「デマ」も多く含まれており、自分や他人の命を守るためには、情報を正しく取捨選択しなければなりません。そのためには、「ウイルス」「免疫」「抗体」「ワクチン」等に関する正しい知識が必要ですが、大人でも難しい内容です。小学生に理解させるためには相当な工夫が必要となります。

細菌・ウイルスに感染しないために

病原体

細菌	ウイルス
サルモネラ	ノロ
ペスト	コロナ
O157	インフルエンザ
生物!	生物?
身長150cm	身長3cm

インフルエンザにかかったことがない

予防接種 免疫

手洗い うがい 薬

運動 マスク 消毒

睡眠 栄養 運動

無菌室 外出しない

気づいていない

(外) (内)

睡眠・栄養・運動

免疫①

手洗い うがい マスク

消毒

じゃんけんしない

外出しない 3密をさける

(外) (内)

病原体

感染

抗体

免疫②

中和抗体

抗体

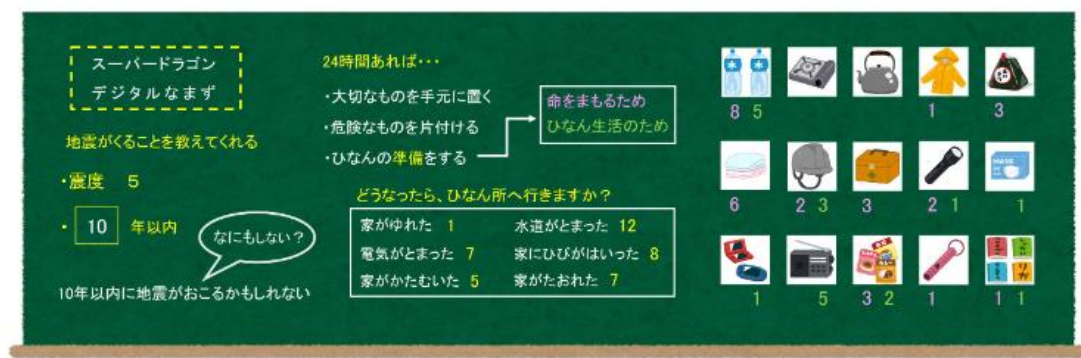
新型コロナウイルス...

小3 災害安全 緊急地震速報

投稿者: kyoiku | 2020-11-12

0件のコメント

地震到達までの時間によって避難行動は変わるはずですが、1秒では無理ですが、5秒あれば机の下にもぐることができます。24時間あれば、もっといろいろな備えができるでしょう。しかし、10年以内に巨大地震が起こる「かもしれない」と言われたら、人はそれに対して十分な備えをするのでしょうか？



小6 災害安全 過去の台風に学ぶ

投稿者: kyoiku | 2020-12-06

0件のコメント

台風の発生を人為的に防ぐことはできませんが、全ての台風が必ず災害を引き起こすとは限りません。「災害は危険が脆弱性と出会うことで起こる。」と言われるように、社会的な脆弱性によって被害は拡大します。過去の台風による被害とその後の対応を知るとは、防災意識を高める手立てとして有効だと考えます。



○ 安全管理 手引きの作成にあたって

[HOME](#) [安全教育](#) [安全管理](#)

手引きの作成にあたって

[Open PDF](#)

「学校安全の手引き」作成に当たって

平成13年（2001年）6月8日、あってはならない事件が本校で起こった。8名もの尊い命を失い、多くの児童が心身に大きな傷を負った。我々教職員は、できるだけことを精一杯やった。しかし、「冷静に判断し最善のことができたのか。」という問いに対しては、「できなかった…。」のが現実である。その反省から、教職員一人ひとりが、学校安全・危機管理に関する重要性を見直し、日頃から常に意識を高く持たなければならないと痛感した。

そういった意識から我々は、学校再開に向けて、校内で児童の安全を守る様々な約束事を整えた。校内安全規則や不審者対応マニュアルなどがその一例である。また、学校再開以降、不審者対応マニュアルをもとに教職員のみで不審者対応訓練を年に6回行うなど、普段から学校の安全管理意識を高め、悲劇が二度と起こらないように努めてきている。

校舎は安全性を重視して生まれ変わったが、安全性の高い校舎が児童の安全を保障するものではない。その校舎で児童とともに日々を過ごす教職員一人ひとりが高い安全管理意識を持って行動しなければ、児童の安全を守ることは不可能である。つまり、児童の安全を守るのは建物や設備、機器ではなく、そこにいる人間なのである。ゆえに、全教職員が共通理解し、児童の安全を守る意識を高め、より高いレベルで安全管理意識を持ち続けたという思いから、本校における学校安全に関する様々な約束事を「学校安全の手引き」としてまとめている。

この「学校安全の手引き」は、実際に即し、普段の生活から広く学校の安全をはかる手引きという性質をもっている。安全管理意識を高め、普段の児童の安全はもとより、児童避難訓練、教職員研修や不審者対応訓練で用いていきたい。また、日頃の安全管理の実態や訓練の反省などから、さらに実際に即した安全に関する手引きとなるよう、改善を加えていきたい。

学校安全の手引き

手引きの作成にあたって

附属池田小学校事件の教訓

安全管理の基本方針

安全管理資料（マニュアル）

不審者対応訓練（動画）

2004年 不審者対応訓練

2012年 不審者対応訓練

2018年 不審者対応訓練

○ 安全管理 不審者対応訓練（動画）

すべての投稿記事

学校安全

不審者対応訓練（動画）

学校安全の手引き

折りと誓いの集い

学校安全ホームページ（大阪教育大学附属学校池田地区）

緑に囲まれた北摂の地、池田市の中央部にある本校は、110年以上の歴史を持つ小学校です。次の5つの目標を掲げ教育活動を展開しています。

自ら進んで学び、生活をきりひろく主体的な意欲と能力の育成

好ましい人間関係を育てることによる集団的資質と社会性の育成

自他の生命を尊重し社会の平和と発展を希求する心情の育成

健康の増進と明るくたくましい心身の育成

安全な社会づくりに主体的に参画する人間の育成

写真…安全教育（安全学習及び安全指導）



交通安全教育



地区別活動



地震避難訓練



火災避難訓練



1年交通安全教室



給食指導（親子給食）

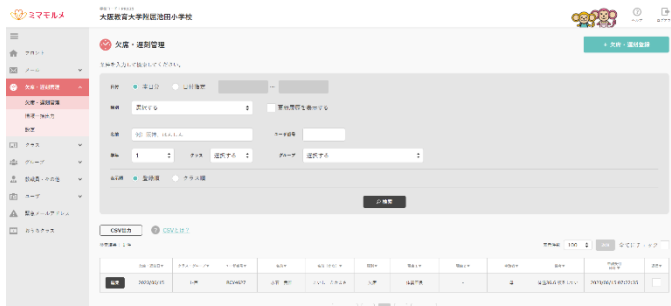


臨海学舎



水難安全教育（着衣水泳）

写真…安全管理（対人管理及び対物管理）



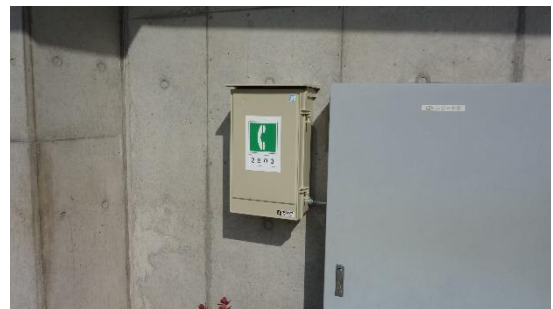
ミマモルメンバーシステム



さすまたの常設



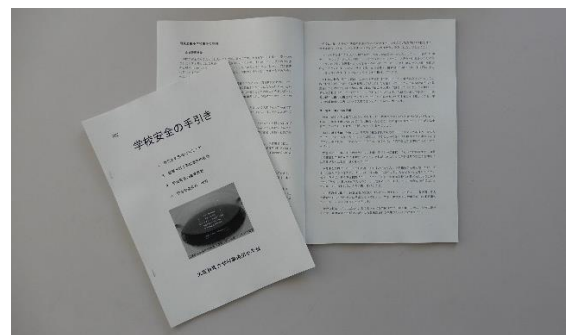
防災倉庫



運動場用校内電話



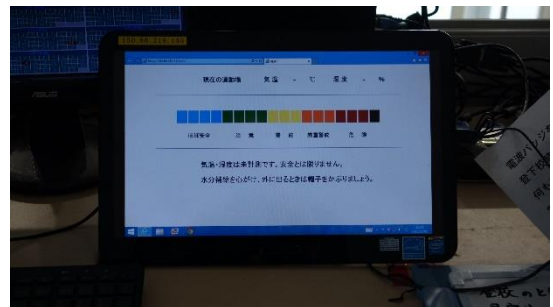
スーパードラゴン



学校安全の手引き



バス登校（1年生）



熱中症予防モニター

写真…安全連携（PTA 活動及び地域資源との連携）



不審者対応訓練



防犯講習会



教職員普通救命講習



PTA 普通救命講習



PTA 登校見守り



PTA 下校見守り



学校視察



池田市安全パトロール

